

1 福岡県の輸出概要

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成12年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸出状況をみると次のとおりである。

平成12年の本県の輸出総額は、2兆1,816億39百万円、前年比0.8%減（183億01百万円の減少）で、2年連続のマイナスとなった。

(2) 商品別輸出動向

商品別構成で見ると、「機械類及び電気機器」（9,135億08百万円）が最も多く輸出全体の41.9%を占めている。次いで、「車両、航空機、船舶等」が25.2%（5,487億60百万円）、「化学工業の生産品」が7.9%（1,713億89百万円）、「プラスチック及びゴム」が7.7%（1,678億38百万円）と続いている。

(3) 港別輸出動向

港別の輸出額は、博多港が4,229億07百万円（前年比9.5%減）、門司港が3,335億16百万円（前年比0.9%増）、福岡空港が6,972億61百万円（前年比9.6%増）、戸畑港が2,148億75百万円（前年比5.0%減）、三池港が1,315億18百万円（前年比24.3%増）、苅田港が3,815億63百万円（前年比12.1%減）の順であった。

港別の特徴で見ると、門司港は「一般機械」、苅田港は「自動車」、戸畑港は「鉄鋼」、博多港は「ゴムタイヤ及びチューブ」、福岡空港は「電気機器」、三池港は「船舶類」の輸入ウエイトが高い。

(4) 地域別輸出動向

輸出先別で見ると、アジア州への輸出は最も多く1兆554億81百万円で、全体に占める割合は48.4%となった。主な相手先は、台湾（1,967億13百万円、同9.0%）、大韓民国（1,609億07百万円、同7.4%）、中華人民共和国（1,361億54百万円、同6.2%）、シンガポール（1,100億67百万円、同5.0%）、フィリピン（998億55百万円、同4.6%）の順となった。

ヨーロッパ州への輸出は3,149億16百万円となり、全体に占める割合は14.4%となった。主な相手先はドイツ（554億31百万円、同2.5%）、イギリス（477億04百万円、同2.2%）、ノルウェー（406億22百万円、同1.9%）、オランダ（266億84百万円、同1.2%）、フランス（225億88百万円、同1.0%）の順となった。

アメリカ州への輸出は7,449億86百万円となり、全体に占める割合は34.1%となった。主な相手先は、アメリカ（6,119億31百万円、同28.0%）、パナマ（402億42百万円、同1.8%）で、この2国で州全体からの輸出の約9割を占めている。

アフリカ州への輸出は194億48百万円となり、全体に占める割合は0.9%となった。主な相手先は、南アフリカ（71億38百万円、同0.3%）、エジプト（43億12百万円、同0.2%）となっている。

大洋州への輸出は468億09百万円となり、全体に占める割合は2.2%となった。主な相手先はオーストラリア（421億28百万円、同1.9%）、ニュージーランド（39億37百万円、同0.2%）となった。

(1) 福岡県内港上位輸出国(地域)順位表

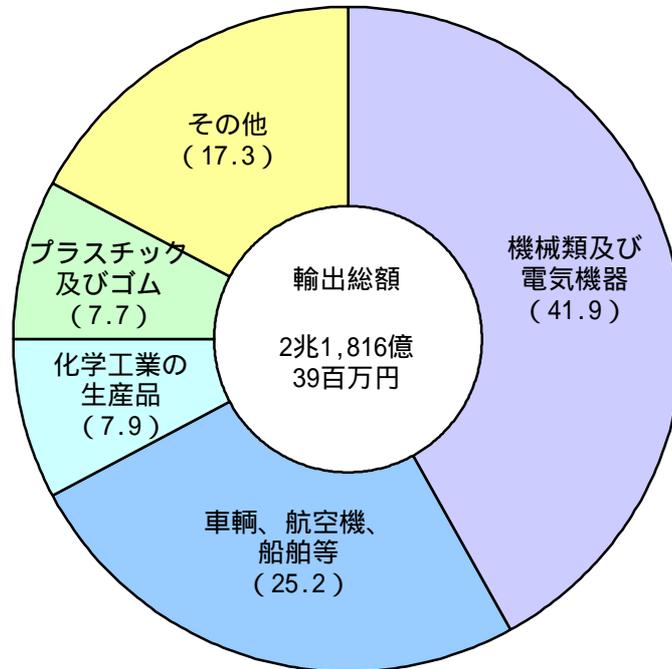
金額単位：百万円

順位	平成 9 年		平成 10 年		平成 11 年		
	国(地域)名	輸出額	国(地域)名	輸出額	国(地域)名	輸出額	構成比(%)
1	アメリカ	611,049	アメリカ	591,506	アメリカ	611,931	28.0
2	台湾	209,020	台湾	201,370	台湾	196,713	9.0
3	大韓民国	174,179	香港	143,405	大韓民国	160,907	7.4
4	香港	150,985	シンガポール	120,468	中華人民共和国	136,154	6.2
5	シンガポール	149,597	大韓民国	115,755	シンガポール	110,067	5.0
6	フィリピン	96,348	中華人民共和国	107,723	フィリピン	99,855	4.6
7	中華人民共和国	93,786	フィリピン	89,293	香港	97,252	4.5
8	マレーシア	92,176	ドイツ	85,703	タイ	78,983	3.6
9	タイ	75,843	マレーシア	64,442	マレーシア	63,595	2.9
10	イギリス	67,371	イギリス	63,251	ドイツ	55,431	2.5
11	ドイツ	60,440	タイ	60,613	イギリス	47,704	2.2
12	-	-	オーストラリア	39,150	オーストラリア	41,756	1.9
13	-	-	カナダ	37,744	ノルウェイ	40,622	1.9
14	-	-	オランダ	29,469	パナマ	40,242	1.8
15	-	-	イタリア	27,975	カナダ	34,656	1.6
	上記以外	609,271	上記以外	422,073	上記以外	365,771	16.9
	合計	2,329,625	合計	2,199,940	合計	2,181,639	100.0

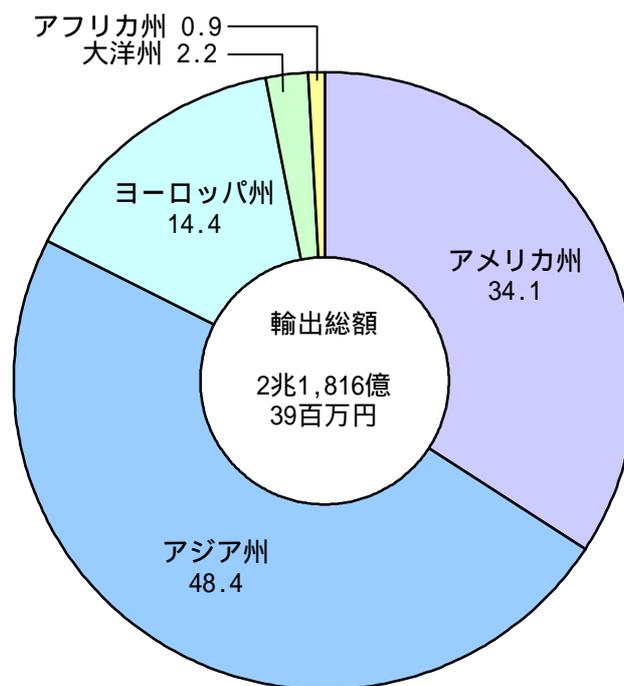
*平成 10 年より統計方法変更のため、9 年のデータ一部不明

(2) 福岡県県内港の品目別・市場別輸出額構成グラフ (平成 11 年)

品目別 (%)



市場別 (%)



2 福岡県の輸入概要

(1) 概況

門司及び長崎税関資料に基づき、平成11年の福岡県内の港（門司、苅田、戸畑、博多、三池）及び福岡空港における輸入状況をみると次のとおりである。

平成11年の本県の輸入総額は、1兆2,289億43百万円、前年比1.8%増（213億07百万円の増加）で、前年のマイナスからプラスに転じた。

(2) 商品別輸入動向

商品別構成で見ると、「機械類及び電気機器」(3,854億02百万円)が最も多く輸入全体の31.4%を占めている。次いで、「動物及び動物性生産品」が10.6%(1,307億02百万円)、「鉱物性生産品」が8.6%(1,058億62百万円)、「植物性生産品」が7.7%(946億76百万円)と続いている。

(3) 港別輸入動向

港別の輸入額は、博多港が4,373億42百万円（前年比7.9%増）、門司港が3,773億96百万円（前年比3.6%減）、福岡空港が2,646億98百万円（前年比23.0%増）、戸畑港が956億12百万円（前年比16.2%減）、三池港が469億22百万円（前年比25.6%減）、苅田港が69億74百万円（前年比62.1%減）の順であった。

港別の特徴で見ると、門司港は「衣類及び同付属品」、苅田港は「石炭」、戸畑港は「液化天然ガス」、博多港は「魚介類及び同調製品」、福岡空港は「電気機器」、三池港は「はき物」の輸入ウエイトが高い。

(4) 地域別輸入動向

輸入先別で見ると、アジア州からの輸入は最も多く8,038億30百万円で、全体に占める割合は前年に比べ3.9ポイントアップの65.4%となった。主な相手先は、中華人民共和国（2,644億56百万円、前年比2.7%増）、大韓民国（1,618億83百万円、同29.4%増）、台湾（848億80百万円、同57.6%増）、インドネシア（768億05百万円、同0.5%減）、タイ（688億39百万円、同5.4%減）、マレーシア（643億69百万円、同3.9%増）の順となった。

ヨーロッパ州からの輸入は、前年比12.7%減の1,172億43百万円となり、全体に占める割合は前年に比べ1.5ポイントダウンの9.6%となった。主な相手先は、ロシア（332億37百万円、前年比19.2%増）、ドイツ（142億59百万円、同13.3%減）、スウェーデン（123億58百万円、同39.8%減）、ノルウェー（95億03百万円、同26.5%減）、フランス（78億46百万円、同7.6%減）、イタリア（72億42百万円、同20.9%減）の順となった。

アメリカ州からの輸入は、前年比6.4%減の2,384億65百万円となり、全体に占める割合は前年に比べ1.7ポイントダウンの19.4%となった。主な相手先は、アメリカ（1,935億04百万円、前年比2.8%減）、カナダ（267億35百万円、同15.0%減）で、この2国で州全体の輸入の9割以上を占めている。

アフリカ州からの輸入は、前年比0.2%減の149億55百万円となり、全体に占める割合は前年と同様の1.2%となった。主な相手先は、南アフリカ（70億51百万円、前年比35.8%減）、ジンバブエ（22億82百万円、同92.6%増）となっている。

大洋州からの輸入は、前年比10.7%減の554億15百万円となり、全体に占める割合は前年に比べ0.6ポイントダウンの4.4%となった。主な相手先はオーストラリア（471億11百万円、前年比10.6%減）、ニュージーランド（72億82百万円、同10.7%減）となった。

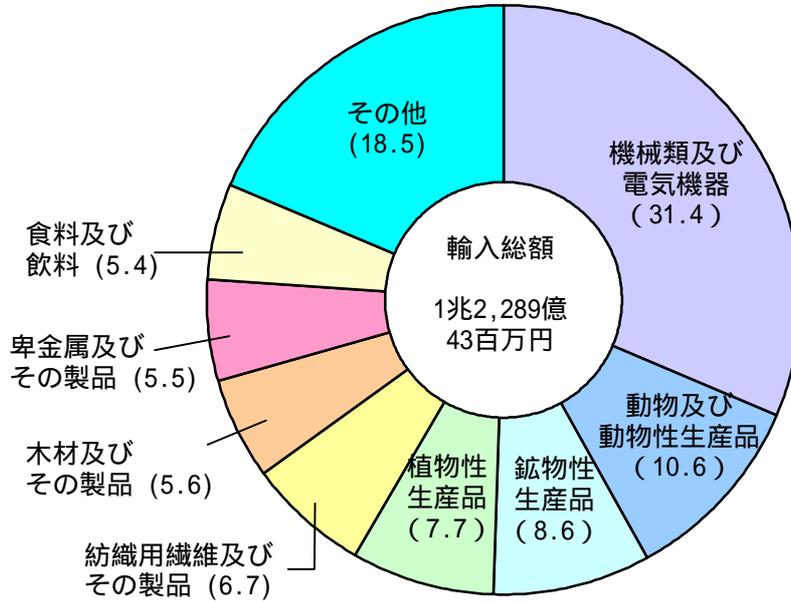
(1) 福岡県内港上位輸入国(地域)順位表

金額単位：百万円

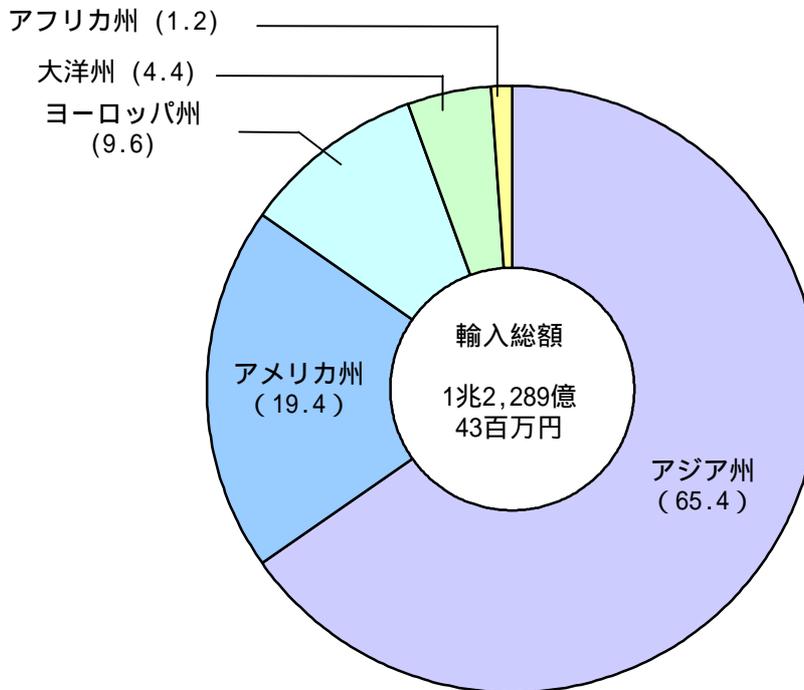
順位	平成 9 年		平成 10 年		平成 11 年		
	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	国(地域)名	輸入額	構成比 (%)
1	中華人民共和国	274,898	中華人民共和国	257,445	中華人民共和国	264,456	21.5
2	アメリカ	204,664	アメリカ	199,015	アメリカ	193,504	15.7
3	大韓民国	132,390	大韓民国	125,074	大韓民国	161,883	13.2
4	インドネシア	99,524	インドネシア	77,227	台湾	84,880	6.9
5	タイ	81,299	タイ	72,752	インドネシア	76,805	6.2
6	マレーシア	72,400	マレーシア	61,965	タイ	68,839	5.6
7	台湾	66,911	台湾	53,843	マレーシア	64,369	5.2
8	オーストラリア	52,780	オーストラリア	52,719	オーストラリア	47,096	3.8
9	カナダ	38,189	カナダ	31,449	フィリピン	33,473	2.7
10	シンガポール	38,154	フィリピン	27,921	ロシア	33,237	2.7
11	ロシア	30,121	ロシア	27,880	カナダ	26,735	2.2
12	フィリピン	28,350	シンガポール	26,931	シンガポール	15,548	1.3
13	スウェーデン	21,195	スウェーデン	20,526	ドイツ	14,259	1.2
14	ドイツ	17,661	ドイツ	16,439	スウェーデン	12,358	1.0
15	ノルウェー	11,979	ノルウェー	12,926	インド	10,067	0.8
	上記以外	163,097	上記以外	143,524	上記以外	121,436	10.0
	合計	1,333,614	合計	1,207,636	合計	1,228,943	100.0

(2) 福岡県内港の品目別・市場別輸入額構成グラフ (平成 11 年)

品目別 (%)



市場別 (%)



3 福岡県の貿易の位置付け

(1) 我が国の貿易動向

99年の我が国の貿易収支は、対前年比12.2%減の12兆2,795億円となった。貿易黒字は97年、98年と拡大傾向にあったが、99年には縮小に転じた。

輸出を金額ベースで見ると、対前年比6.1%の減少で47兆5,476億円となった。また、数量ベースでは、対前年比0.2%の減少となった。

品目別輸出額の対前年伸び率を見ると、減少している商品が多い中、精密機械が前年比2.5%増となっている。減少率が大きな商品としては、原燃料、金属品が挙げられる。

地域別輸出額の対前年伸び率を見ると、全体的に伸び率はマイナス傾向にある中、アジア地域においてはプラスとなっている。中東、CIS・中欧・東欧地域では、大きくマイナスとなっている。

輸入を金額ベースで見ると、対前年比3.8%減の35兆2,680億円となった。また、数量ベースでは、対前年比9.5%増と、増加に転じた。

品目別輸入額の対前年伸び率を見ると、多くの品目において前年比マイナスとなっている中、原油及び粗油、石油製品は大きくプラスになっている。対前年比が大きくマイナスとなっているのは食料品、金属品である。

地域別輸入額の対前年伸び率を見ると、全体的に増加傾向にあるが、大洋州においてはやや減少している。

地域別の輸出入のシェアをみると、輸出、輸入とも東アジア及び米国のシェアがやや回復傾向にある。

(「通商白書2000」通商産業省編)

(2) 福岡県貿易の位置付け

我が国の貿易に占める本県貿易の割合は、輸出(金額ベース、以下同じ)が4.6%、輸入(金額ベース、以下同じ)が3.5%となり、それぞれ0.3ポイント、0.2ポイントの増となった。

輸出入の動向を国のそれと比べてみると、輸出においては国が前年比6.1%減となったのに対し、本県では0.8%減となっている。輸入においては国が前年比3.8%減となったのに対し、本県では1.8%増となっている。

輸出商品の構成をみると、本県において最大の輸出品目である「機械類及び電気機器」が全体に占める割合は41.9%であるのに対し、国においては45.7%である。また、本県第2位の輸出品目で全体の25.2%を占める「車両、航空機、船舶等」の輸送用機器は国全体では22.7%となっている。

輸入の構成をみると、輸出と同様輸入においても本県最大の品目である「機械類及び電気機器」が31.4%であるのに対し、国全体では23.6%となっている。以下、「動物及び動物性生産品」が本県では10.6%、国全体では7.5%、「鉱物性生産品」が本県では8.6%、国全体では16.0%となっている。